

FI/Tr

千曲川大洪水水位標



Ver.1(2020/2/1)

## 災害伝承 DATA

所在地：長野県上高井郡小布施町押羽  
緯度・経度：北緯 36 度 42 分 4.9 秒  
東経 138 度 17 分 58.1 秒  
伝承形式：解説板・標柱  
種類 / 要因：洪水・湛水 / 集中豪雨  
災害発生：1742 年（寛保 2）年 8 月 1 日～ 2 日（旧暦）  
建立時期：不明  
指定等：なし  
周辺地形：谷底平野・河川



観光情報はこちら

### 言い伝え・伝説

千曲川流域の洪水の歴史は、文献では 888 年（仁和 4 年）が最も古く、特記すべき洪水は、1742 年（寛保 2 年）「戌の満水」と呼ばれる千曲川史上最大の洪水です。写真は平成 16 年、18 年の洪水時を示した水位標になります。

### 周辺案内

千曲川にかかる「小布施橋」。この橋右岸のたもとにあるのが「千曲川河川公園」です。近くの千曲川堤防上の「桜堤」といわれる場所には、4 月下旬～ 5 月上旬にかけて、全長 4 km 約 600 本の八重桜「一葉」が咲きます。また、小布施橋のたもとの広場には黄色い菜の花がきれいに咲き、観光客も多く訪れます。